

*National Hospital Organization Clinical Indicator 2008*

**国立病院機構  
臨床評価指標  
2008**

## はじめに



国立病院機構は、全国145の病院からなる我が国最大の病院ネットワークであるとともに、共通の理念に基づいて医療サービスを行なう法人でもあります。患者や市民の皆さまが安心して医療をお受け頂くため、厳しい目で自己評価を行ないつつ、たゆまぬ医療の質向上に向けた努力を続けることが我々職員の使命です。

今まで、病院機能を評価する上で、財務の観点、経営的な観点からの評価指標はいくつもあり、病院機能の改善に向けた根拠として運用されています。しかしながら、患者や市民の皆さまにとって最も肝心な医療そのものの質については、定量的な評価がなされることはまだ非常に少ないというのが現状です。患者の皆さま一人一人に提供される医療のプロセスや、提供された医療によってどれだけの健康に関する利益が生まれたかをもって医療を評価し、病院間で良質でばらつきの少ない医療の均てん化に向けた方略が、今後は是非とも必要です。また、そのような試みは、一法人として全国に病院ネットワークを持つ国立病院機構だからこそ可能なことなのです。

医療の内容や成績そのものを測定し比較するという事は、非常に難しい部分がたくさんあります。例えば、治療の成績は、そもそもの患者さんの重症度に大きく影響を受けますから、治療の成績がよくない施設は技術に問題があるということには一概には言えません。そのため、医療の内容や成績を測定し、形にすること自体に抵抗を感じる方も少なくないと思います。また、指標上の成績をよくするために、患者さんを選別するようなことがおこり得る問題は、欧米でも指摘されているところであり、そのようなことは決してあってはならないことです。しかしながら、現在の我々が行なっている医療を可視化し、病院横断的・時間縦断的な比較を行なうことで、我々自身が形成的な自己評価のもとに患者さんへのケアの質を考え、改善に向けていくことは、極めて重要な取り組みです。

本臨床評価指標は、独立行政法人化以降、研究及び検討を重ねた成果をもとに、昨年度からその運用を開始しました。本年度の結果については、昨年度結果との比較が出来る様に表記しました。今後さらに指標自体の吟味と改正も繰り返しつつ、この臨床評価指標が、国立病院機構が提供する医療の向上を実現し、ひいては我が国の医療の質向上に寄与することを強く願っています。

2009年 3月

## Contents

臨床評価指標の見方	4
1. 原発性肺がん入院中死亡率(切除例)	5
2. 肺がん切除例の5年生存率(Stage I, II)	
3. 乳がん切除例の5年生存率 (Stage II)	
4. 大腸がん切除例の5年生存率(Stage III)	6
5. 胃がん手術:平均術後在院日数	
6. 大腸がん手術:平均術後在院日数	
7. うつ病:平均在院日数	
8. C型慢性肝炎入院患者に対するIFN治療率	7
9. 急性心筋梗塞:平均在院日数	
10. 急性心筋梗塞の重症度別死亡率	
11. 急性心筋梗塞患者における入院当日もしくは翌日のアスピリン投与率	8
12. 脳血管障害:平均在院日数	
13. 脳梗塞患者における早期リハビリ開始率	9
14. 脳梗塞患者における初期少量アスピリン投与率	
15. 低出生体重児(1000~2500g未満)死亡率	
16. 出産予定妊婦の帝王切開率	10
17. 大腿骨頭置換術:平均術後在院日数	
18. 白内障手術:平均在院日数	
19. 超重症児(者)受け入れ率	11
20. 重症心身障害児(者)短期入院受け入れ率	
21. 結核入院患者DOTS実施率	12
22. 排菌陽性結核患者の平均在院日数	
23. 全入院患者中のHIV陽性率	
24. 退院患者中の褥瘡(Ⅱ度以上)の院内発生率	
25. 75歳以上の入院患者における入院中の骨折率	
26. 病院職員のインフルエンザワクチン接種率	13
計測対象病院と計測期間の定義	14

## ■ 臨床評価指標の見方

国立病院機構146病院施設のうち、指標の該当病院の数値をまとめ、独立行政法人国立病院機構としてのデータを表示しています。また、前年度との比較や数値の推移がわかりやすいよう平成18年度の数値も掲載しておりますが、平成18年度のデータにつきましては、計測方法の見直しや数値の精査を行った結果、データを更新しております。  
なお、巻末に計測対象病院及び計測期間を掲載しておりますので、ご覧ください。

### < 計測方法 >

分子定義 (上段) ※分子(上段)、分母(下段)にて定義を表記しています。  
分母定義 (下段)

### < 標記例 >

指標値	該当病院	H19年度
分子 / 分母		74.8 % 30 NHO病院 909 人 / 1215 人

### < 凡 例 >

上段の四角い枠内はH18年度、下段はH19年度の数値となります。

#### 2-2. 肺がん切除例の5年生存率(Stage II)

計測方法

【分子】分母対象例のうち、院内情報や郵送による予後調査により「生存」を確認した数

【分母】計測期間に「肺がん」を主病名として、手術治療(肺の切除術)が行われた患者のうち、病理組織所見上の病期がStage IIであった患者数(\*)

H18年度	42.1 % 10 NHO病院 51 人 / 121 人
H19年度	42.4 % 7 NHO病院 36 人 / 85 人

## 1. 原発性肺がん入院中死亡率(切除例)

計測方法

【分子】分母対象例のうち、手術後30日以内に死亡退院した患者数(がん以外が死亡原因である場合も含む)

【分母】計測期間内に退院した患者のうち、「肺がん」治療を目的として入院し、入院中に肺切除術が行われた患者数

H18年度

0.5 % 38 NHO病院

15 人 / 3087 人

H19年度

0.7 % 41 NHO病院

22 人 / 3229 人

### 2-1. 肺がん切除例の5年生存率(Stage I)

計測方法

【分子】分母対象例のうち、院内情報や郵送による予後調査により「生存」を確認した数

【分母】計測期間に「肺がん」を主病名として、手術治療(肺の切除術)が行われた患者のうち、病理組織所見上

H18年度

71.9 % 27 NHO病院

827 人 / 1151 人

H19年度

76.0 % 30 NHO病院

924 人 / 1215 人

### 2-2. 肺がん切除例の5年生存率(Stage II)

計測方法

【分子】分母対象例のうち、院内情報や郵送による予後調査により「生存」を確認した数

【分母】計測期間に「肺がん」を主病名として、手術治療(肺の切除術)が行われた患者のうち、病理組織所見上の病期がStage IIであった患者数(\*)

H18年度

42.1 % 10 NHO病院

51 人 / 121 人

H19年度

45.9 % 7 NHO病院

39 人 / 85 人

## 3. 乳がん切除例の5年生存率(Stage II)

計測方法

【分子】分母対象例のうち、院内情報や郵送による予後調査により「生存」を確認した数(\*)

【分母】計測期間内に「乳がん」を主病名として乳房の切除術(乳房温存術を含む)が行われた患者のうち、病理組織所見上の病期がStage IIであった患者数(\*)

H18年度

85.7 % 20 NHO病院

772 人 / 901 人

H19年度

84.9 % 23 NHO病院

859 人 / 1012 人

(\*) 安否が不明の患者については、分母から除外せず、分子には生存の確認が行われた患者のみを「生存」としています。  
そのため論理的には実際の生存率よりも低い値となります。

#### 4. 大腸がん切除例の5年生存率(StageⅢ)

計測方法

【分子】分母対象例のうち、院内情報や郵送による予後調査により「生存」を確認した数(\*)

【分母】計測期間内に「大腸がん」を主病名として手術治療(大腸切除術)が行われた患者のうち、病理組織所見

(\*) 安否が不明の患者については、分母から除外せず、分子には生存の確認が行われた患者のみを「生存」としています。  
そのため論理的には実際の生存率よりも低い値となります。

H18年度

62.5 % 33 NHO病院

438 人 / 701 人

H19年度

59.6 % 32 NHO病院

425 人 / 713 人

#### 5. 胃がん手術:平均術後在院日数

計測方法

【分子】分母対象例の術後在院日数  
(退院日-手術日)の総和

【分母】計測期間内に退院した患者のうち、「胃がん」を主病名として入院し、入院中に全身麻酔による手術治療(開腹もしくは腹腔鏡下による胃切除手術、胃部分切除術)を受けた患者数

H18年度

25.4 日 51 NHO病院

74145人日 / 2918 人

H19年度

24.1 日 51 NHO病院

66729人日 / 2766 人

#### 6. 大腸がん手術:平均術後在院日数

計測方法

【分子】分母対象例の術後在院日数  
(退院日-手術日)の総和

【分母】計測期間内に退院した患者のうち、「大腸がん」を主病名として入院し、入院中に全身麻酔による開腹もしくは腹腔鏡下手術による「大腸切除術(部分切除を含む)」を受けた患者数

H18年度

24.1 日 54 NHO病院

85967人日 / 3560 人

H19年度

23.6 日 55 NHO病院

85379人日 / 3616 人

#### 7. うつ病:平均在院日数

計測方法

【分子】分母対象例の在院日数  
(退院日-入院日+1)の総和

【分母】計測期間内に退院した患者のうち、「うつ病」を主病名として精神科病棟に入院し、7日以上の入院期間がある患者数

H18年度

72.9 日 27 NHO病院

108315人日 / 1485 人

H19年度

74.9 日 27 NHO病院

98629人日 / 1316 人

## 8. C型慢性肝炎入院患者に対するIFN治療率

計測方法

【分子】分母対象例のうち、IFNの投与が行われた患者の数※IFNの定義(商品名:IFNαモチダ、IFNβモチダ、アドパフェロン、イントロンA、オーアイエフ、スミフェロン、フェロン、ベガシス、ベグイントロン)

【分母】計測期間内に退院した患者の中で、「C型慢性肝炎」を主病名として3日以上期間入院していた患者数

H18年度	67.1 %	27 NHO病院
	894 人 / 1332 人	

H19年度	66.0 %	29 NHO病院
	861 人 / 1305 人	

## 9. 急性心筋梗塞:平均在院日数

計測方法

【分子】分母対象例の在院日数  
(退院日-入院日+1)の総和

【分母】計測期間内に退院した患者のうち、「急性心筋梗塞」が主病名であり、3日以上入院期間があり、退院転帰が「死亡」以外であった患者数

H18年度	22.1 日	37 NHO病院
	51606人日 / 2336 人	

H19年度	21.8 日	43 NHO病院
	57727人日 / 2652 人	

## 10-1. 急性心筋梗塞の重症度別死亡率(重症度A)

計測方法

【分子】分母対象例のうち、退院時の転帰が「死亡」であった患者数(各重症度別)

【分母】計測期間内に退院した患者のうち、「急性心筋梗塞」を主病名に入院した患者数(各重症度別)

## \*重症度の分類

- A. 人口呼吸なし、大動脈バルーンパンピング法なし、経皮的心肺補助法なし群  
B. 人工呼吸あり群(大動脈バルーンパンピング法なしかつ経皮的心肺補助法なし)  
C. 大動脈バルーンパンピング法あり群(人口呼吸実施の有無は問わない)

H18年度	3.9 %	32 NHO病院
	72 人 / 1842 人	

H19年度	3.6 %	40 NHO病院
	81 人 / 2279 人	

## 10-2. 急性心筋梗塞の重症度別死亡率(重症度B)

計測方法

【分子】分母対象例のうち、退院時の転帰が「死亡」であった患者数(各重症度別)

【分母】計測期間内に退院した患者のうち、「急性心筋梗塞」を主病名に入院した患者数(各重症度別)

H18年度	31.1 %	5 NHO病院
	19 人 / 61 人	

H19年度	14.0 %	3 NHO病院
	7 人 / 50 人	

## 10-3. 急性心筋梗塞の重症度別死亡率(重症度C)

計測方法

【分子】分母対象例のうち、退院時の転帰が「死亡」であった患者数(各重症度別)

【分母】計測期間内に退院した患者のうち、「急性心筋梗塞」を主病名に入院した患者数(各重症度別)

H18年度	20.8 %	9 NHO病院
	33 人 / 159 人	

H19年度	20.3 %	12 NHO病院
	47 人 / 232 人	

## 11. 急性心筋梗塞患者における入院当日若しくは翌日のアスピリン投与率

計測方法

【分子】分母対象例のうち、入院当日もしくは翌日の処方歴に「アスピリン」「バップアリン」等、アスピリン処方されていた患者数

【分母】計測期間内に退院した患者のうち、「急性心筋梗塞」を主病名に入院した患者数

H18年度	77.4 %	38 NHO病院
	2089 人 / 2698 人	

H19年度	80.0 %	45 NHO病院
	2404 人 / 3006 人	

## 12. 脳血管障害:平均在院日数

計測方法

【分子】分母対象例の在院日数  
(退院日-入院日+1)の総和

【分母】計測期間内に退院した患者のうち、退院時主病名が「脳卒中」「脳梗塞」「脳塞栓」「脳出血」「一過性脳虚血発作」であり、入院後に頭部CTスキャンもしくは頭部MRI検査がなされている50歳以上の患者で、かつ3日以上90日以下の入院がある者の数(転帰が死亡である場合、病名に「くも膜下出血」がある場合は除外する)

H18年度	26.6 日	67 NHO病院
	228040人日 / 8584 人	

H19年度	26.6 日	69 NHO病院
	261999人日 / 9839 人	

## 13. 脳梗塞患者における早期リハビリ開始率

計測方法

【分子】分母対象例のうち、入院日より4日の時点で身体機能リハビリ処方が開始された患者数

【分母】計測期間内に退院した患者のうち、退院時主病名が「脳梗塞」であり、入院後に頭部CTスキャンもしくは頭部MRI検査がなされている50歳以上の患者で、かつ3日以上90日以下の入院がある者の数(転帰が死亡である場合、病名に「くも膜下出血」がある場合は除外する)

H18年度	37.0 %	61 NHO病院
	2208 人 / 5972 人	

H19年度	35.9 %	64 NHO病院
	2613 人 / 7271 人	



## 14. 脳梗塞患者における初期少量アスピリン投与率

計測方法

【分子】分母対象例のうち、入院当日もしくは翌日の処方歴に「アスピリン」「バップアリン」等、アスピリン処方のおータが出されていた患者数(他の抗血小板薬、もしくはワーファリンが処方されており、アスピリンの処方がない場合対象としない)

【分母】計測期間内に退院した患者のうち、退院時主病名が「脳梗塞」「一過性脳虚血発作」であり、入院後に頭部CTスキャンもしくは頭部MRI検査がなされている50歳以上の患者のうち、入院期間が3日以上90日以下の患者数(転帰が死亡である場合、病名に「くも膜下出血」「脳出血」「脳梗塞」「心房細動」がある場合は除外する)

H18年度	30.1 %	62 NHO病院
	1746 人 / 5792 人	

H19年度	31.0 %	62 NHO病院
	2035 人 / 6575 人	

## 15-1. 低出生体重児(1000-1500g未満)の死亡率[NICU設置病院]

計測方法

分子】転帰が死亡である極低出生体重児(1000~1500g未満)の数

【分母】計測期間内に退院した児で当該病院に入院し、生後1週以内の出生体重が1000~1500g未満であった児の数

H18年度	2.6 %	4 NHO病院
	3 人 / 117 人	

H19年度	0.4 %	6 NHO病院
	1 人 / 248 人	

## 15-2. 低出生体重児(1500-2500g未満)の死亡率[NICU設置病院]

計測方法

【分子】転帰が死亡である低出生体重児(1500~2500g未満)の数

【分母】計測期間内に退院した児で当該病院に入院し、生後1週以内の出生体重が1500~2500g未満であった児の数

H18年度	0.6 %	19 NHO病院
	11 人 / 1825 人	

H19年度	0.3 %	21 NHO病院
	5 人 / 1921 人	

## 15-3. 低出生体重児(1000-2500g未満)の死亡率[NICU非設置病院]

計測方法

【分子】転帰が死亡である児(1000~2500g未満)の数

【分母】計測期間内に退院した児のうち、当該病院で生まれた出生体重が1000~2500g未満であった児の数

H18年度	0.5 %	12 NHO病院
	3 人 / 644 人	

H19年度	0.2 %	12 NHO病院
	1 人 / 554 人	

## 16. 出産予定妊婦の帝王切開率

計測方法

【分子】分母対象例のうち、帝王切開が実施された妊婦の数

【分母】36週以降43週未満で当該病院で出産を行った妊婦の数

H18年度

$$\frac{25.2\% \quad 44 \text{ NHO病院}}{4009 \text{ 人} \quad / \quad 15939 \text{ 人}}$$

H19年度

$$\frac{26.6\% \quad 42 \text{ NHO病院}}{4260 \text{ 人} \quad / \quad 15991 \text{ 人}}$$

## 17. 大腿骨頭置換術：平均術後在院日数

計測方法

【分子】分母対象例の術後在院日数  
(退院日－手術日)の総和

【分母】計測期間内に退院した患者のうち、入院中に「大腿骨頭置換術」を受けた患者数

H18年度

$$\frac{39.0 \text{ 日} \quad 41 \text{ NHO病院}}{80963 \text{ 人日} \quad / \quad 2078 \text{ 人}}$$

H19年度

$$\frac{37.5 \text{ 日} \quad 52 \text{ NHO病院}}{104115 \text{ 人日} \quad / \quad 2775 \text{ 人}}$$

## 18-1. 白内障手術：平均在院日数〔両眼手術の場合〕

計測方法

【分子】分母対象例の在院日数  
(退院日－入院日+1)の総和【分母】計測期間内に「白内障」を主病名として白内障手術を行い、2日以上期間入院した患者数  
(両眼白内障手術の場合)

H18年度

$$\frac{8.8 \text{ 日} \quad 28 \text{ NHO病院}}{29625 \text{ 人日} \quad / \quad 3349 \text{ 人}}$$

H19年度

$$\frac{8.6 \text{ 日} \quad 29 \text{ NHO病院}}{31028 \text{ 人日} \quad / \quad 3626 \text{ 人}}$$

## 18-2. 白内障手術：平均在院日数〔片眼手術の場合〕

計測方法

【分子】分母対象例の在院日数  
(退院日－入院日+1)の総和【分母】計測期間内に「白内障」を主病名として白内障手術を行い、2日以上期間入院した患者数  
(片眼白内障手術の場合)

H18年度

$$\frac{5.3 \text{ 日} \quad 41 \text{ NHO病院}}{30046 \text{ 人日} \quad / \quad 5674 \text{ 人}}$$

H19年度

$$\frac{4.8 \text{ 日} \quad 41 \text{ NHO病院}}{30381 \text{ 人日} \quad / \quad 6295 \text{ 人}}$$

## 18-3. 外来における白内障手術件数

計測方法

計測期間内に外来にて「白内障手術」を実施した件数

H18年度

895 件 14 NHO病院

H19年度

546 件 13 NHO病院

## 19. 超重症児(者)受け入れ率

計測方法

【分子】分母対象例のうち、計測期間内に超重症児(者)入院診療加算を1回以上算定した患者実数

【分母】計測期間内に重症心身障害児(者)病棟入院中であった重症心身障害児(者)実数  
\* 7日以内の短期入所を除く

H18年度

11.5 % 71 NHO病院  
894 人 / 7762 人

H19年度

13.4 % 69 NHO病院  
971 人 / 7265 人

## 20. 重症心身障害児(者)短期入院受け入れ率

計測方法

【分子】計測期間内に退院した重症心身障害児(者)のうち、入院期間7日間以内であった短期入院患者数

【分母】平成18年4月1日および平成19年4月1日の重症心身障害児(者)病棟の病床数(運営病床数)

H18年度

81.9 人/床 70 NHO病院  
5868 人 / 7168 床

H19年度

79.6 人/床 73 NHO病院  
5914 人 / 7430 床

## 21. 結核入院患者DOTS実施率

計測方法

【分子】分母対象例のうち、DOTS開始がなされた患者

【分母】計測期間に結核病棟に入院中で、主病名が「肺結核」かつ3日以上180日未満の期間入院した患者で、抗結核薬が処方された患者数

H18年度

94.5 % 45 NHO病院  
6034 人 / 6384 人

H19年度

97.3 % 44 NHO病院  
5854 人 / 6019 人

## 22. 排菌陽性結核患者の平均在院日数

計測方法

【分子】分母対象例の在院日数  
(退院日-入院日+1)の総和【分母】計測期間に結核病棟から退院した患者のうち、  
主病名が「肺結核」で、入院期間が3日以上、180日未  
満であった患者で「痰塗末標本」で陽性であった患者数  
(多剤耐性結核患者数を除く)

H18年度

69.9 日	42 NHO病院
293326人日 / 4197 人	

H19年度

69.6 日	43 NHO病院
292037人日 / 4195 人	

## 23. 全入院患者中のHIV陽性率

計測方法

【分子】分母対象例のうち、HIV陽性であった患者数

【分母】計測期間内に退院した患者数

H18年度

0.1 %	146 NHO病院
493 人 / 562056 人	

H19年度

0.1 %	146 NHO病院
515 人 / 696900 人	

## 24. 退院患者中の褥瘡(Ⅱ度以上)の院内発生率

計測方法

【分子】分母対象例のうち、褥瘡対策に関する治療計画  
書(院内発生)にてNPUAP分類にてStageⅡ以上、もしく  
はDESIGN評価表にてd2以上の褥瘡を有する患者数【分母】計測期間内に退院した患者のうち、入院時褥瘡  
評価で褥瘡のない75歳以上(退院時年齢)の患者数

H18年度

2.6 %	140 NHO病院
3615 人 / 138952 人	

H19年度

2.6 %	144 NHO病院
3883 人 / 150773 人	

## 25. 75歳以上の入院患者における入院中の骨折率

計測方法

【分子】分母対象例のうち、入院中に骨折し、加療を行っ  
た患者数【分母】計測期間内に退院した患者のうち、3日以上  
の期間入院した75歳以上(退院時年齢)の患者数

H18年度

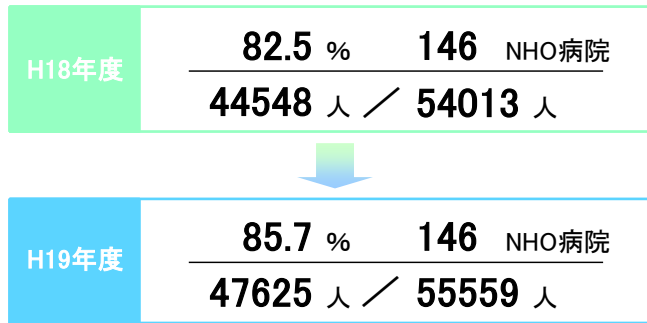
0.2 %	143 NHO病院
335 人 / 137492人	

H19年度

0.2 %	144 NHO病院
337 人 / 142711 人	

## 26. 病院職員のインフルエンザワクチン接種率

計測方法

【分子】分母対象者のうち、自施設でインフルエンザ  
ワクチンを接種した職員数【分母】院内職員対象インフルエンザワクチン接種を  
開始した月の初日に在職している非常勤職員を含む  
病院職員数(派遣職員を除く)

## 臨床評価指標 計測対象病院と計測期間の定義

指標項目	計測対象病院	計測期間
1. 原発性肺がん入院中死亡率(切除例)	「肺がん」を主病名に入院した患者が計測期間内に30名以上(実数)いる病院で、肺がんに対する手術治療を行なっている病院	平成18年度 (H18年4月1日～19年3月31日に退院した患者) 平成19年度 (H19年4月1日～20年3月31日に退院した患者)
2-1. 肺がん切除例の5年生存率(Stage I)	「肺がん」を主病名に入院した患者が計測期間内に20名以上(実数)いる病院で、肺がんに対する手術治療を行なっている病院	平成13年度 (H13年4月1日～14年3月31日に手術を実施した患者) 平成14年度 (H14年4月1日～15年3月31日に手術を実施した患者)
2-2. 肺がん切除例の5年生存率(Stage II)	「肺がん」を主病名に入院した患者が計測期間内に10名以上(実数)いる病院で、肺がんに対する手術治療を行なっている病院	平成13年度 (H13年4月1日～14年3月31日に手術を実施した患者) 平成14年度 (H14年4月1日～15年3月31日に手術を実施した患者)
3. 乳がん切除例の5年生存率(Stage II)	「乳がん」を主病名に入院した患者が計測期間内に20名以上(実数)いる病院で、乳がんに対する手術治療を行なっている病院	平成13年度 (H13年4月1日～14年3月31日に手術を実施した患者) 平成14年度 (H14年4月1日～15年3月31日に手術を実施した患者)
4. 大腸がん切除例の5年生存率(Stage III)	「大腸がん」を主病名に入院した患者が計測期間内に10名以上(実数)いる病院で、大腸がんに対する手術治療を行なっている病院	平成13年度 (H13年4月1日～14年3月31日に手術を実施した患者) 平成14年度 (H14年4月1日～15年3月31日に手術を実施した患者)
5. 胃がん手術:平均術後在院日数	「胃がん」を主病名に入院した患者が計測期間内に20名以上(実数)いる病院で、胃がんに対する手術治療を行なっている病院	平成18年度 (H18年4月1日～19年3月31日に退院した患者) 平成19年度 (H19年4月1日～20年3月31日に退院した患者)
6. 大腸がん手術:平均術後在院日数	「大腸がん」を主病名に入院した患者が計測期間内に20名以上(実数)いる病院で、大腸がんに対する手術治療を行なっている病院	平成18年度 (H18年4月1日～19年3月31日に退院した患者) 平成19年度 (H19年4月1日～20年3月31日に退院した患者)
7. うつ病:平均在院日数	精神科病棟を持つ病院	平成18年度 (H18年4月1日～19年3月31日に退院した患者) 平成19年度 (H19年4月1日～20年3月31日に退院した患者)
8. C型慢性肝炎入院患者に対するIFN治療率	「内科」または「消化器科」を標榜する病院	平成18年度 (H18年4月1日～19年3月31日に退院した患者) 平成19年度 (H19年4月1日～20年3月31日に退院した患者)
9. 急性心筋梗塞:平均在院日数	「循環器科」または「心臓血管外科」を標榜する病院	平成18年度 (H18年4月1日～19年3月31日に退院した患者) 平成19年度 (H19年4月1日～20年3月31日に退院した患者)
10. 急性心筋梗塞重症度別死亡率	「循環器科」または「心臓血管外科」を標榜する病院	平成18年度 (H18年4月1日～19年3月31日に退院した患者) 平成19年度 (H19年4月1日～20年3月31日に退院した患者)
11. 急性心筋梗塞患者における入院当日もしくは翌日のアスピリン投与率	「循環器科」または「心臓血管外科」を標榜する病院	平成18年度 (H18年4月1日～19年3月31日に退院した患者) 平成19年度 (H19年4月1日～20年3月31日に退院した患者)
12. 脳血管障害:平均在院日数	「神経内科」または「循環器科」、「内科」、「脳神経外科」を標榜する病院	平成18年度 (H18年4月1日～19年3月31日に退院した患者) 平成19年度 (H19年4月1日～20年3月31日に退院した患者)
13. 脳梗塞患者における早期リハビリ開始率	「神経内科」または「循環器科」、「内科」、「脳神経外科」を標榜する病院	平成18年度 (H18年4月1日～19年3月31日に退院した患者) 平成19年度 (H19年4月1日～20年3月31日に退院した患者)
14. 脳梗塞患者における初期少量アスピリン投与率	「神経内科」または「循環器科」、「内科」、「脳神経外科」を標榜する病院	平成18年度 (H18年4月1日～19年3月31日に退院した患者) 平成19年度 (H19年4月1日～20年3月31日に退院した患者)
15. 低出生体重児(1000～2500g未満)死亡率	「産科」及び「小児科」を標榜する病院 A) NICUを有する病院 B) NICUの無い病院 ※NICUとは新生児特定集中治療室管理料加算を算定する病床をいう。	平成18年度 (H18年4月1日～19年3月31日に退院した患者) 平成19年度 (H19年4月1日～20年3月31日に退院した患者)
16. 出産予定妊婦の帝王切開率	「産科」及び「小児科」を標榜する病院	平成18年度 (H18年4月1日～19年3月31日に出産した妊婦) 平成19年度 (H19年4月1日～20年3月31日に出産した妊婦)
17. 大腿骨頭置換術:平均術後在院日数	「整形外科」を標榜する病院	平成18年度 (H18年4月1日～19年3月31日に退院した患者) 平成19年度 (H19年4月1日～20年3月31日に退院した患者)

指標項目	計測対象病院	計測期間
18-1. 白内障手術:平均在院日数 [ 両眼手術の場合 ]	「眼科」を標榜する病院	平成18年度 (H18年4月1日～19年3月31日に退院した患者) 平成19年度 (H19年4月1日～20年3月31日に退院した患者)
18-2. 白内障手術:平均在院日数 [ 片眼手術の場合 ]	「眼科」を標榜する病院	平成18年度 (H18年4月1日～19年3月31日に退院した患者) 平成19年度 (H19年4月1日～20年3月31日に退院した患者)
18-3. 外来における白内障手術件数	「眼科」を標榜する病院	平成18年度 (H18年4月1日～19年3月31日に手術を行っている患者) 平成19年度 (H19年4月1日～20年3月31日に手術を行っている患者)
19. 超重症児(者)受け入れ率	重症心身障害病棟を持つ病院	平成18年度 (H18年4月1日～19年3月31日に入院していた患者) 平成19年度 (H19年4月1日～20年3月31日に入院していた患者)
20. 重症心身障害児(者)短期入院受け入れ率	重症心身障害病棟を持つ病院	平成18年度 (H18年4月1日～19年3月31日に退院した患者) 平成19年度 (H19年4月1日～20年3月31日に退院した患者)
21. 結核入院患者DOTS実施率	結核病棟を持つ病院	平成18年度 (H18年4月1日～19年3月31日に入院した患者) 平成19年度 (H19年4月1日～20年3月31日に入院した患者)
22. 排菌陽性結核患者の平均在院日数	結核病棟を持つ病院	平成18年度 (H18年4月1日～19年3月31日に退院した患者) 平成19年度 (H19年4月1日～20年3月31日に退院した患者)
23. 全入院患者中のHIV陽性率	全病院	平成18年度 (H18年4月1日～19年3月31日に退院した患者) 平成19年度 (H19年4月1日～20年3月31日に退院した患者)
24. 退院患者中の褥瘡(Ⅱ度以上)の院内発生率	入院基本料の施設基準項目の褥瘡対策に関する下記基準を満たしている施設。 (1)当該保険医療機関において、褥瘡対策が行われていること。 (2)当該保険医療機関において、褥瘡対策に係る専任の医師及び専任の看護職員から構成される褥瘡対策チームが設置されていること。 (3)当該保険医療機関における日常生活の自立度の低い入院患者につき一律に褥瘡に関する危険因子の評価が実施されていること。	平成18年度 (H18年4月1日～19年3月31日に退院した患者) 平成19年度 (H19年4月1日～20年3月31日に退院した患者)
25. 75歳以上の入院患者における入院中の骨折率	全病院	平成18年度 (H18年4月1日～19年3月31日に退院した患者) 平成19年度 (H19年4月1日～20年3月31日に退院した患者)
26. 病院職員のインフルエンザワクチン接種率	全病院	平成18年度 (H18年4月1日～19年3月31日) 平成19年度 (H19年4月1日～20年3月31日)



独立行政法人  
国立病院機構本部

〒152-8621 東京都目黒区東が丘2-5-21